

2021年度 中学入試概況

今年度の応募者数は、第1回が412名、第2回が646名で、のべ1058名でした。また、両回出願者は279名でした(昨年は第1回が411名、第2回が674名、のべ1085名。両回出願者は247名)。応募者数は第1回がほぼ同数、第2回が微減となりましたが、大きな変動はありませんでした。引き続き進学したいと思われる教育の展開を目指してまいります。新学習指導要領に合わせた改訂する中学教育課程に続いて、高校教育課程も大学入試への対応も見据えながら改訂を進めています。

地域別の応募者数の割合は、第1回は多摩地区57.3%(236名)、23区21.4%(88名)、神奈川県14.3%(59名)、埼玉県6.1%(25名)、他府県・外国1.0%(4名)でした。第2回は多摩地区52.8%(341名)、23区31.4%(203名)、神奈川県10.2%(66名)、埼玉県4.3%(28名)、他府県・外国が1.2%(8名)でした(百分率%は小数第2位を四捨五入)。例年と比べ大きな変化はありませんでした。引き続きより広い地域から本校を選んでもいただけるよう教育内容の刷新に努めてまいります。

両日ともに天候の不安はなく、受験生も焦ることなく受験に向かうことができました。新型コロナウイルスの感染状況が心配でしたが、大きな対応を要せず終えることができました。

合格者最低点は、第1回が200点、第2回は204点でした(昨年度の第1回は199点、第2回は211点。満点は320点)。入試問題作成にあたる姿勢、設定している難易度や出題内容は例年通りで変更しておりません。第1回入試では、国語の平均点が昨年度に比べ大きく減少する一方で、算数の平均点は増加する結果となりました。社会と理科の平均点は例年とあまり変化はありませんでした。第2回入試では、国語・算数が昨年度に比べ平均点が減少する一方で、社会の平均点は例年並み、理科の平均点は若干上がる結果となりました。

本校での学びにおいて期待する、身につけた知識を状況に合わせて活用しながら思考を深めていく、また局所的ではなく全体を見通した上で解答にたどり着くことを期待する問題の作成を来年度も目指してまいります。

2021年度入試

募集人員 第1回約120名 第2回約60名

応募人員 第1回412名 第2回646名

欠席者数 第1回45名 第2回188名

受験者数 第1回367名 第2回458名

合格者数 第1回148名 第2回247名

合格最低点 第1回200点(得点率62.5%) 第2回204点(得点率63.8%)

受験者平均点

第1回 国語 57.6点 算数 62.1点 社会 38.5点 理科 38.2点 合計 190.3点

第2回 国語 53.7点 算数 62.7点 社会 43.1点 理科 41.2点 合計 200.6点

合格者平均点

第1回	国語 59.5点	算数 71.8点	社会 42.4点	理科 43.4点	合計 217.1点
第2回	国語 60.2点	算数 71.7点	社会 46.6点	理科 46.3点	合計 224.8点